

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	岐 阜 県
-------	-------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	御嵩町立御嵩小学校					フロンティアチャー		上田 浩之	
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4	4	4	4	2	25	39
児童数	110	125	124	133	126	147	8	773	

研究の概要

1. 研究主題

<p>「できた」「わかった」という喜びを味わえる子をめざして          ~基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる算数科指導~</p>
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生、算数(学習姿勢の確立と基礎・基本を身につけさせるため)</li> <li>・2年生、算数(学習姿勢の確立と基礎・基本を身につけさせるため)</li> <li>・3年生、算数(子どもの理解力に差が生じやすい教科、学年であるため)</li> <li>・4年生、算数(子どもの理解力に差が生じやすい教科、学年であるため)</li> <li>・5年生、算数(子どもの理解力に差が生じやすい教科、学年であるため)</li> <li>・6年生、算数(子どもの理解力に差が生じやすい教科、学年であるため)</li> </ul>
--

(2) 年次ごとの計画

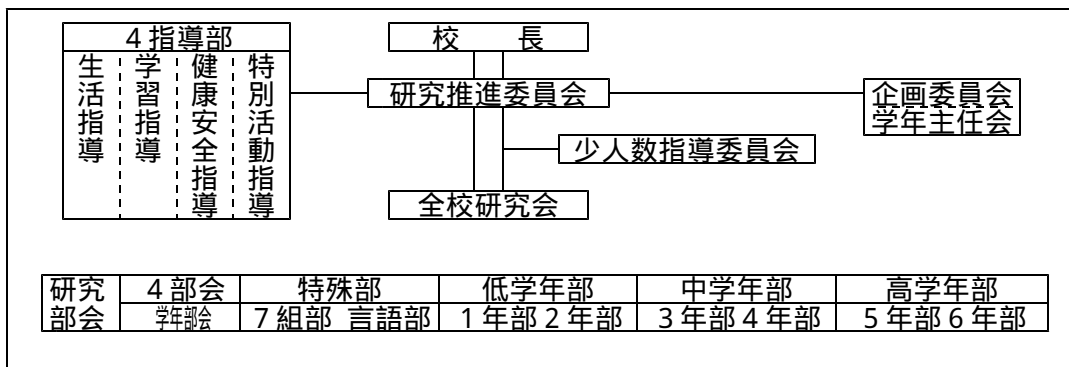
平成 14 年度	<p>テーマ          「できた」「わかった」という喜びを味わえる子をめざして          ~基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる算数科指導~</p> <p>研究の見通し(仮説)          学習内容を明確にした指導計画を作成し、それを確実に定着させる指導          や評価の工夫が、「できた」「わかった」という喜びを味わえる子の育成に          つながる。</p> <p>研究内容・方法          &lt;研究内容&gt;学習内容を明確にした指導計画の作成          ・基礎的・基本的な学習内容の明確化          ・評価規準の明確化          &lt;研究内容&gt;学習内容を確実に身につけることができる指導の工夫          ・指導方法・指導体制の工夫、改善          ・仲間と共に学ぶ楽しさを味わうことができる学習過程のあり方          &lt;研究内容&gt;学んだことを仲間と共に確かめることのできる評価及び生か          し方          ・自己評価・相互評価の工夫          ・評価を生かした指導の改善</p>
----------------	--

平成 15 年	<p>テーマ          「できた」「わかった」という喜びを味わえる子をめざして          ~基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる算数科指導~</p> <p>研究の見通し(仮説)          学習内容を明確にした指導計画を作成し、それを確実に定着させる指導          や評価の工夫が、「できた」「わかった」という喜びを味わえる子の育成に          つながる。</p> <p>研究内容・方法          &lt;研究内容&gt;学習内容を明確にした指導計画の改善          ・基礎的・基本的な学習内容の明確化          ・評価規準の明確化</p>
---------------	--

度	<p>&lt;研究内容&gt;学習内容を確実に身につけることができる指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法・指導体制の工夫、改善</li> <li>・教材教具や補充的・発展的な問題の開発</li> <li>・仲間と共に学ぶ楽しさを味わうことができる学習過程のあり方</li> </ul> <p>&lt;研究内容&gt;学んだことを仲間と共に確かめることのできる評価及び生かし方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価・相互評価の工夫</li> <li>・評価を生かした指導の改善</li> </ul>
---	--

平成16年度	<p>テーマ 「できた」「わかった」という喜びを味わえる子をめざして ～基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる算数科指導～ 研究の見通し(仮説) 学習内容を明確にした指導計画を作成し、それを確実に定着させる指導や評価の工夫が、「できた」「わかった」という喜びを味わえる子の育成につながる。</p> <p>研究内容・方法 &lt;研究内容&gt;学習内容を明確にした指導計画の作成(全単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な学習内容の明確化</li> <li>・評価規準の明確化</li> </ul> <p>&lt;研究内容&gt;学習内容を確実に身につけることができる指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法・指導体制の工夫、改善</li> <li>・教材教具や補充的・発展的な問題の開発</li> <li>・仲間と共に学ぶ楽しさを味わうことができる学習過程のあり方</li> </ul> <p>&lt;研究内容&gt;学んだことを仲間と共に確かめることのできる評価及び生かし方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価・相互評価の工夫</li> <li>・評価を生かした指導の改善</li> </ul>
--------	--

(3) 研究推進体制



- ・少人数指導委員会では、各学年の少人数指導担当で、学年間の共通理解を図る。
- ・研究推進委員会では、指導方法や学習過程の研究をすすめる。
- ・学習指導委員会では、学習姿勢の確立のための話し合いを定期的にもち指導方針の共通理解を図っている。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 学力の伸び	学力診断テストより (H14年度.H15年度 4月末実施)		現3年生		現4年生 - 昨年度から少人数指導実施	
		H14年度	H15年度		H14年度	H15年度
	学年平均	89	83	学年平均	80	85
	全国平均	84	81	全国平均	83	84

現5年生 - 一昨年度から少人数指導実施                      現6年生 - 昨年度から少人数指導実施

H14年4月は、学力向上フロンティアスクールとしての実践を始める以前の学力、H15年4月は、実践1年後の学力と捉え各学年の全体の正答率と全国平均の正答率で比較してみた。

- ・昨年度は、全国平均を上回ったのは現5年生であったが、今年度は実施した5つの学年すべてで全国平均を上回るか同じであった。
- ・昨年度、少人数指導を実施したのは3・4・5年生であった。少人数指導2年目の現4年生と6年生は大きな伸びをみせている。
- ・昨年度、少人数指導を実施しなかった現3年生が、全国的な傾向と一致する様相を見せていることから、少人数指導に切りかえた初年度は、学力のある

	H14年度	H15年度		H14年度	H15年度	
学年平均	81	83	—	学年平均	67	77
全国平均	80	83		全国平均	76	75

面は伸びるといえる。

- ・明らかな伸びが確認されたということは、本校の少人数指導の指導体制・指導方法がある程度適切であり、方向は誤っていなかったととらえることもできる。

(2) 少人数指導に対する意識調査アンケート(同様のものを施)より  
(H14年・12月に3・4・5年生実施、H15年・7月に3・4・5・6年生実施)

- 児童用アンケートの全体集計を比較して
    - ・「算数の学習は好きですか」・・・好き、普通が89%から91%に増えている。
    - ・「家で算数の学習について話題にしますか」・・・話題にする、ときどき話題にするが88%から89%に増えている。これは、授業参観日に、計画的に少人数指導を全学級順に公開していることもある。
    - ・「少人数の学習でやる気ができましたか」・・・やる気が出てきた子が、49%から53%に増えている。
  - 保護者用アンケートの全体集計を比較して
    - ・「少人数指導でやる気が向上したと思いますか」・・・思うが、52%から54%に増えている。
    - ・「少人数指導を来年も続けて欲しいと思いますか」・・・続けて欲しいが、87%から91%に増えている。
- 意識調査アンケート全体を通して  
家庭内で、少人数指導の算数の学習が話題になり、意欲の向上がみられた。

(3) 研究内容について

- 研究内容1
  - ・「つきたい力」「評価規準の観点」「つまずきとその手だて」等の見直しによる指導計画の改善
  - ・「数と計算」領域の単元指導計画の完成
- 研究内容2
  - ・プレテストを導入して、児童の実態を把握することの継続
  - ・児童の実態や学習内容に応じて、様々な集団編成で学習を展開
  - ・基本的な学習の進め方の定着

(事前 問題提示 課題提示 個人追究 集団追究 全体追究 全体追究 自己評価) まとめ 練習

- ・習熟度別学習における補充的、発展的な問題の作成
- ・ペア交流やスクランブル交流の積極的な導入
- 研究内容3
  - ・学年の発達段階に応じた自己評価と時間の位置付け
  - ・学習の振り返りノートの作成(蓄積)
  - ・形成的評価の導入

➤

➤

## 2. 今後の課題

- (1) 研究内容 1
  - ・「数と計算」領域以外の全単元指導計画の完成
- (2) 研究内容 2
  - ・少人数指導では、集団編成を生かした指導の更なる充実
  - ・T T指導では、個別指導以外の有効な指導法の模索
  - ・補充と発展を意識した、少人数指導でこそ有効な教材の開発
  - ・ペア交流やスクランブル交流での、更に個が高まる指導法
- (3) 研究内容 3
  - ・形成的評価の充実
  - ・評価の蓄積とその活用方法の確立

### 学力等把握のための学校としての取組

- 全体として  
学力診断テスト  
(学力の伸びと実態把握のため年 1 回 4 月末、2 年生以上で実施：算数)  
少人数による指導のアンケート調査  
(児童や保護者の意識を知り、指導に生かすため年 1 回 7 月に、3 年生以上で実施)
- 各学年・学級として  
プレテスト  
(既習事項の定着度を把握し、つまずきや予想される反応を分析し、手だてを明確にするために各単元のはじめに実施)  
単元末まとめテスト  
(単元の達成状況の把握)  
年度末まとめテスト  
(1 年間のまとめと達成状況の把握)
- 評価の活用として  
評価規準を基にしたつまずきへの対応の明確化と個々の累積と分析  
自己評価、相互評価、教師の評価等の累積と分析

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会、研修会等の開催実績及び開催予定  
 平成15年 5月13日(火) 御嵩小学校  
 6年生 少人数授業 「分数のたし算・ひき算」  
 平成15年 6月10日(火) 御嵩小学校  
 4年生 少人数授業 「小数」  
 平成15年 6月30日(月) 御嵩小学校  
 1年生 TT指導 「ひき算1」  
 平成15年 11月26日(水) 御嵩小学校  
 可茂地区協議会・学力向上フロンティアスクール公表会  
 (可茂地区の学校から、1名以上の参加)  
 平成16年 1月30日(金) 御嵩小学校  
 特殊学級 TT指導 「算数大会をしよう」～ゲームで楽しく活動しよう～  
 平成16年 2月23日(月) 御嵩小学校  
 職員研修 中京大学教授 杉江 修治先生  
 演題 「子ども一人一人の力を最大に生かす少人数指導」

研究成果普及のためのHP作成、パンフレット作成等の実績  
 ・HP (<http://www.town.mitake.gifu.jp/school/mitake-es/index.htm>) にて  
 学力向上フロンティアスクールの取り組みについて公開  
 ・平成14年度と15年度に研究紀要を作成し、公表会等で参観者に配布

フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績予定  
 ・平成15年 5月 6日(火) 御嵩小学校  
 可児郡教育研究総会にて、御嵩小学校少人数指導の取り組みの紹介  
 ・平成15年10月 6日(月) 可茂教育振興事務所  
 教務主任会にて、御嵩小学校少人数指導の取り組みの紹介  
 ・平成16年 2月25日(水) 坂祝小学校  
 学力向上フロンティアスクール公表会にて、御嵩小学校少人数指導の  
 取り組みの紹介  
 ・他校や他県の学力向上フロンティアスクールの公表会等に参加し、研修  
 した内容の職員への報告及び啓発  
 ・平成14年度に設置された可児郡学力向上推進委員会の委員として、郡  
 内の各小中学校の学力向上を図るようにしている。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校      14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下               7～12学級  
                                   13～18学級               19～24学級  
                                   25学級以上
- 【指導体制】              少人数指導              T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制               その他
- 【研究教科】               国語               社会              算数               理科  
                                   生活               音楽               図画工作  家庭  
                                   体育               その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】              有  無